

本のぽけっと

5・6年生に
おすすめする本

市川市立図書館

ボルネオでオランウータンに会う ケンタのジャングル体験

たかはしあきら／ぶん おおともやすお／え 福音館書店

4才の時、動物園でオランウータンを見て一目で好きになったケンタは、「ボルネオ・ジャングル体験スクール」に参加することになりました。

マレーシアの自然保護区の中で4日間をすごしながら、班ごとに毎日ジャングルに出かけます。夜と昼のジャングル体験や山登りでは、たくさんの動物や昆虫、樹木を見ました。小川では水中の生きものを採集しました。そして、最後の最後に果物を食べている母子のオランウータンに会えた！ケンタが見つけたのです。会いたかった野生のオランウータン。ケンタはその人間そっくりのしぐさをずっと見ていたかったのです。

ジャングルにはたくさんの
生き物たちがいるよ



夏休みに、翡翠をさがした

岡田依世子／作 岡本順／絵 アリス館



両親が旅館を営んでいる六年生の玉江は、夏休みに、いとこの哲平と転校生の信彦といっしょに翡翠を探すことになった。実は玉江の亡くなった祖父は翡翠探しの名人で、旅館である家には翡翠の場所が書かれた古文書が残っているらしい。けれどもその旅館も、小説を書くためと今は父が休業中になっている。玉江はそんな父へのわだかまりと、不登校の幼なじみ、ゆりなへの思いに悩みながらも古文書を頼りに謎を解き、翡翠を探しに深い竪穴洞窟の中に入っていくのだった。はたして3人の願いの翡翠は発見できるのだろうか。

鉄道きょうだい

E. ネズビット／著 中村妙子／訳 教文館

九時十五分の汽車は「緑色の竜」
(グリーンドラゴン)！

ロバータ、ピーター、フィリスの三きょうだいの生活は、突然の来客が持ってきた「よくない知らせ」によってがらりと変わってしまいます。大好きなお父さんはよそで暮らすことになり、きょうだいはお母さんとともに田舎でひっそりと貧しい暮らしをすることになったのです。

新しい家は大自然に囲まれていて、近くの丘にのぼると蒸気機関車がいくのがよく見えました。三人は毎日のように機関車を見に行き、鉄道にくわしくなるうち、いつも九時十五分の上りに乗っている老紳士と手をふりかわすようになります。



ぼくの先生は東京湾

とうきょうわん
なかむらいくお
中村征夫／写真・文

フレーベル館



東京、千葉、神奈川の3都県にかこまれた東京湾。海の中をのぞいてみると、
おどろくほどたくさん生きものたちがくらしている命ゆたかな海です。そこでとれる

魚や貝などは「江戸前」とよばれ、多くの人を楽しみにしていますが、
以前はとてもよごれた海で、海底はごみの山とヘドロでした。

それから30年、色々な人の努力できれいな水になってきました。でも、
まだ「赤潮」などの問題が残っています。

東京湾を長く撮り続けてきた写真家による、人間と
自然のバランスを考えさせられる写真絵本です。



むじんとう ぼうけん 無人島の冒険

ロン・ロイ／作、黒澤浩／訳、小栗麗加／絵 国土社

この夏、ハーリーは、弟のスクープと無人島へキャンプに行くはめになった。
スクープは6年前、養子として迎えられたが、一人っ子だったハーリーは、
子守りなんてまっぴらだといつも思っていたのだ。

キャンプでは火はつかわないことになっていたが、ハーリーはこっそり
マッチを持ってきていた。ところが、たき火の枝から海が火事になり、島は炎に
包まれてしまう。二人は火をよける工夫をし、燃えさかる木々を通り
ぬけ、火がとどいていない岩まで必死に移動する。助けを待ちながら、
色々な危険を乗り越えていく中、二人に固い信頼が生まれていく。



無人島でキャンプ中、
まわりの海が火事に！



「本のぽけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で
かりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

